

## Ⅲ-2 申し込み手続き ～小・中・義務教育学校～

### ◆第1期申し込み◆ 令和5年4月13日（木）センター締め切り

○研修内容、期日等は p. 23～p. 32 参照

○研修番号1「小学校初任者研修」、2「中学校初任者研修」、5「新規採用養護教諭研修」、6「新規採用栄養教諭研修」については、研修の申し込みは不要です。総合教育センターで教員サポートシステムへの登録を行います。

○研修番号24「小中学校初任者研修拠点校指導教員研修」についても、研修の申し込みは不要です。別途送付する様式で希望を取ります。

研修番号	研修・講座名	指定	自由応募	サポートシステム備考欄への記載	必要書類 ※
9	小学校2年目教員研修			必要のある受講者のみ	
10	中学校2年目教員研修				
13	小学校3年目教員研修				
14	中学校3年目教員研修				
18 19 22 23	小学校中堅教諭資質向上研修 中学校中堅教諭資質向上研修 中堅養護教諭資質向上研修 中堅栄養教諭資質向上研修 【前期】、【後期】、【後期・弾力化MS】、【後期・弾力化M】、【後期・弾力化S】			○	
26	特別支援学級担当教員初心者研修				
27	通級指導担当教員初心者研修				
30	中学校新任進路指導主事研修				
32	小中学校新任教務主任研修				
37	小中学校新任教頭研修				
38	小中学校新任校長研修				
45	道徳推進講座	○			
46	外国人児童生徒教育講座	○	○		
47	教育研究リーダー養成研修	○			様式5

※必要書類は、愛知県総合教育センターのウェブページ「研修部」>「申し込む」からダウンロードできます。

必要事項を記入し、所属アドレス（学校代表アドレス）から総合教育センター所属アドレスへメールで提出してください。

再任用教諭・臨時的任用教員等、氏名リストに表示されない職員については、サポートシステムの学校ページにログインし、「職員名・学校情報の修正・登録・変更・受講履歴照会」メニューから職員の登録を行った上で申し込み手続きを行ってください。

【申し込み及びサポートシステム入力上の留意事項等】

研修 番号	研修・講座名	留意事項
1 2 5 6	小学校初任者研修 中学校初任者研修 新規採用養護教諭研修 新規採用栄養教諭研修	○サポートシステムへの入力は不要です（総合教育センターで教員サポートシステムへの登録を行います）。
9 10	小学校2年目教員研修 中学校2年目教員研修	○令和4年度に小・中学校初任者研修を受講した者。受講していない者は除く。また、養護教諭、栄養教諭は対象外である。 ○受講対象者であるが本年度受講できない者は、サポートシステム申し込み画面「手順2」で「2・3年研を受講しない」を選択し、リストから理由を選択する。 ○受講日は後日指定する。3日間のうち、やむを得ない事情で参加できない日がある場合は、サポートシステム申し込み画面の「備考」欄に、その期日と理由を入力する。 （例）8月24日（木） 野外教室引率のため ○サポートシステム申し込み画面の「手順4」でリストから担当学年を選択する。
13 14	小学校3年目教員研修 中学校3年目教員研修	○令和3年度に小・中学校初任者研修を受講した者。受講していない者は除く。また、養護教諭、栄養教諭は対象外である。 ○受講対象者であるが本年度受講できない者は、サポートシステム申し込み画面「手順2」で「2・3年研を受講しない」を選択し、リストから理由を選択する。 ○受講日時は後日指定する。2日間のうち、やむを得ない事情で参加できない日や時間帯がある場合は、サポートシステム申し込み画面の「備考」欄にその日時と理由を入力する。 （例）9月12日（火） 午前・午後 修学旅行引率のため ○サポートシステム申し込み画面の「手順4」でリストから担当学年を選択する。

研修番号	研修・講座名	留意事項										
1 8	小学校中堅教諭資質向上研修	<p>・受講対象者については、p. 24～p. 25を参照する。</p> <p>&lt;サポートシステム申し込み画面について&gt;</p> <p><b>本年度受講する者</b></p> <p>○「手順2」で「第1期申し込み」を選択し、必要に応じて選択や「備考」欄に下表(1)～(4)を参考にして入力する。</p> <p>○「備考」欄に所属学年等を以下のとおり半角数字で入力する（養護教諭・栄養教諭は入力不要）。所属学年がない場合は、授業で担当する学年を入力する。</p> <p>○1年～6年→「1」～「6」のいずれか</p> <p>○複式学級→「7」、特別支援→「8」、専科→「9」、通級→「10」、日本語→「11」、その他→「12」</p> <p>○「選択領域」入力上の注意</p> <p>◆「選択教科」について（養護教諭、栄養教諭は入力不要） 令和5年度に授業実践できる教科で、免許教科または専門性を高めたい教科を、下記の教科の中から選んで入力する（[選択不可の例]に注意する）。</p> <p>・小・中・義務教育学校（前期課程）のみ＜生活、外国語活動・外国語、体育・保健体育、家庭＞</p> <p>・小・義務教育学校（後期課程）のみ＜英語、技術＞</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[選択不可の例]</p> <p>次の場合は、令和5年度に授業実践ができないため選択できない。</p> <p>×小学校教諭の「技術」</p> <p>×小学校1・2年生担任教諭の「社会」「理科」「外国語活動・外国語」</p> <p>×小学校1～4年生担任教諭の「家庭」</p> <p>×小学校3～6年生担任教諭の「生活」</p> </div> <p>◆「選択研修」欄の入力上の注意</p> <p>以下の日程に実施される選択研修にて受講したい研修内容をリストから第2希望まで選択する（内容の詳細は、「中堅教諭等資質向上研修の手引」を参照する。養護教諭・栄養教諭は夏季のみ入力する）。</p> <p>【前期】小学校8月18日（金）、中学校8月21日（月）</p> <p>【後期】小学校8月1日（火）・12月26日（火） 中学校8月2日（水）・12月27日（水）</p> <p>（できる限り希望の研修を受けられるよう配慮するが、定員の都合により希望外の研修内容になることもある）</p> <p>○【後期】弾力化希望の選択については、「研修講座の選択」において、リストから「弾力化MS」「弾力化M」「弾力化S」のいずれかを選択する。ただし、MS両方を前倒して希望しても、定員の関係でどちらか一方しか受講できない場合もある。</p> <p>○【後期】弾力化受講希望者は、主任等の役割があれば「備考」欄に下表(4)を参考にして入力する。</p> <table border="1" data-bbox="496 1469 1426 1709"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>「備考」欄への入力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 研修の受講を延期していた者が、令和5年度に研修を受講する場合</td> <td>○印を付し、延期していた理由を入力する。 (例)○令和4年度まで育児休業</td> </tr> <tr> <td>(2) 他府県や異校種での経験があるため、令和5年度に対象者になる場合</td> <td>※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 (例)※対象者（本県3年目で他県3年経験）</td> </tr> <tr> <td>(3) 任用替えの栄養教諭</td> <td>◆印を付し、任用替えをした年度を入力する。</td> </tr> <tr> <td>(4) 【後期】弾力化希望者</td> <td>主任等の役割があれば入力する。 (例)生徒指導主事</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※複数項目に該当する場合は項目ごとに改行をする</p> <p><b>受講対象者であるが本年度受講しない者</b></p> <p>○「手順2」で「延期」「対象外」「免除」を選択し、リストから理由を選択する。</p>	区分	「備考」欄への入力	(1) 研修の受講を延期していた者が、令和5年度に研修を受講する場合	○印を付し、延期していた理由を入力する。 (例)○令和4年度まで育児休業	(2) 他府県や異校種での経験があるため、令和5年度に対象者になる場合	※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 (例)※対象者（本県3年目で他県3年経験）	(3) 任用替えの栄養教諭	◆印を付し、任用替えをした年度を入力する。	(4) 【後期】弾力化希望者	主任等の役割があれば入力する。 (例)生徒指導主事
区分	「備考」欄への入力											
(1) 研修の受講を延期していた者が、令和5年度に研修を受講する場合	○印を付し、延期していた理由を入力する。 (例)○令和4年度まで育児休業											
(2) 他府県や異校種での経験があるため、令和5年度に対象者になる場合	※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 (例)※対象者（本県3年目で他県3年経験）											
(3) 任用替えの栄養教諭	◆印を付し、任用替えをした年度を入力する。											
(4) 【後期】弾力化希望者	主任等の役割があれば入力する。 (例)生徒指導主事											
	【後期】は弾力化を含む											

研修番号	研修・講座名	留意事項
26	特別支援学級担当教員初心者研修	<p>○令和5年度に特別支援学級を初めて担当する教員全員。ただし、過去に特別支援学校で勤務した者及び特別支援学級を担当した者を除く。</p> <p>◆令和4年度に本研修を申し込んだが、都合により受講できなかった教員には、自由応募の59「特別支援教育講座（A～E）」の申し込みを推奨する。</p> <p>&lt;サポートシステム申し込み画面について&gt;</p> <p>○「手順4」で、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴、言語障害、自閉症・情緒障害を選択する。</p>
27	通級指導担当教員初心者研修	<p>○通級指導を初めて担当する教員全員が対象。</p> <p>&lt;サポートシステム申し込み画面について&gt;</p> <p>○「手順4」で、病弱・身体虚弱、弱視、難聴、言語障害、自閉症、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等を選択する。</p>
30	中学校新任進路指導主事研修	<p>○中学校、義務教育学校の新任進路指導主事全員。</p> <p>○新任とは、これまでに進路指導主事の経験の無い者を指す（経験の有無は歴任校も含める）。</p> <p>○令和4年度途中で新たに進路指導主事になった者で、本研修を受講していない者も対象とする。</p>
32	小中学校新任教務主任研修	<p>○新任教務主任全員。</p> <p>○令和4年度途中で新たに教務主任になった者で、本研修を受講していない者も対象とする。</p>
37	小中学校新任教頭研修	<p>○新任教頭全員</p> <p>○令和4年度途中で昇任した者で、本研修を受講していない者も対象とする。</p>
38	小中学校新任校長研修	<p>○新任校長全員</p> <p>○令和4年度途中で昇任した者で、本研修を受講していない者も対象とする。</p>
45	道徳推進講座 指定	○道徳教育推進教師が対象
46	外国人児童生徒教育講座 指定・自由応募	<p>○外国人児童生徒教育担当教員及び担当する可能性のある教員で、過去に本講座を受講していない者。</p> <p>&lt;サポートシステム申し込み画面について&gt;</p> <p>○「手順4」で、「<u>地区指定</u>」「<u>自由応募</u>」を必ず区別して、「外国人児童生徒教育担当」の経験年数を、歴任校も含めて選択する。</p>
47	教育研究リーダー養成研修 指定	<p>○本案内 p.89に示す「応募条件」を満たす者について入力する。</p> <p>○別に（様式5）「教育研究リーダー養成研修（小・中・義務教育学校）参加者推薦書」を、各市町村教育委員会が指定する日までにメールで提出する。</p>

◆第2期申し込み◆（自由応募制） 令和5年6月13日（火）締め切り

○研修内容、期日等は p. 33～p. 70 参照

研修番号	研修・講座名
55	学校農園活用講座
57	刈払機安全衛生教育講座
58	農業技術講座A
59	特別支援教育講座A～E
60	学級・学年づくりに生かす教育相談講座
61	いじめ・不登校など今日的課題に対応する教育相談講座
62	教育相談コーディネーター養成講座
65	ICT活用実践講座

【申し込み及びサポートシステム入力上の留意事項等】

研修番号	研修・講座名	留意事項
59	特別支援教育講座A～E	○「手順4」で、A・B・Dの各コースは、希望の参加方法を「センター会場」「オンライン」「どちらでもよい」から選択する（オンラインでの受講は、A・Bコースは午前のみ、Dコースは午後のみとする。オンラインでの受講では、同コース内の他の講義や協議は受講できない）。

◆eラーニング単独講座申し込み◆ 令和6年2月9日（金）まで随時受付

研修番号	研修・講座名
66～107	p. 46～p. 70 参照

### Ⅲ-3 申し込み手続き ～高等学校～

#### ◆第1期申し込み◆ 令和5年4月13日（木）締め切り

○研修内容、期日等は p. 23～p. 32 参照

○研修番号3「高等学校初任者研修」、5「新規採用養護教諭研修」、7「県立学校新規採用実習教員・寄宿舎指導員研修」については、研修の申し込みは不要です。総合教育センターで教員サポートシステムへの登録を行います。

研修番号	研修・講座名	指定	自由応募	サポートシステム備考欄への記載	必要書類 ※1
11	高等学校2年目教員研修				
15	高等学校3年目教員研修				
20 22	高等学校中堅教諭資質向上研修 中堅養護教諭資質向上研修 【前期】【後期】、【後期・弾力化MS】 【後期・弾力化M】【後期・弾力化S】			○	
27	通級指導担当教員初心者研修		○		
28	高等学校実習教員研修A	○			
29	県立学校新任生徒指導主事研修				
31	県立学校新任進路指導主事研修				
33	県立学校新任教務主任研修				
34	産業教育学科主任研修				
39	県立学校新任教頭研修				
40	県立学校新任校長研修				
46	外国人児童生徒教育講座	○	○		
47	教育研究リーダー養成研修	○			様式6
60	学級・学年づくりに生かす教育相談講座	○	※2		
61	いじめ・不登校など今日的課題に対応する教育相談講座	○			
62	教育相談コーディネーター養成講座	○			
64	あいちクラスルーム・エバンジェリスト養成研修	○			

研修番号41「公立学校の臨時教員等研修」の申し込みについては、別途送付する実施要項等でお知らせします。

※1 必要書類は、愛知県総合教育センターのウェブページ「研修部」>「申し込む」からダウンロードできます。

必要事項を記入し、所属アドレス（学校代表アドレス）から総合教育センター所属アドレスへメールで提出してください。

※2 自由応募は第2期に申し込んでください。

再任用教諭・臨時的任用教員等、氏名リストに表示されない職員については、サポートシステムの学校ページにログインし、「職員名・学校情報の修正・登録・変更・受講履歴照会」メニューから職員の登録を行った上で申し込み手続きを行ってください。

【申し込み及びサポートシステム入力上の留意事項等】

研修番号	研修・講座名	留意事項								
3 5 7	高等学校初任者研修 新規採用養護教諭研修 県立学校新規採用実習教員・寄宿舎指導員研修	○サポートシステムへの入力は不要です（総合教育センターで教員サポートシステムへの登録を行います）。								
1 1	高等学校2年目教員研修	○2年目教員研修対象者とは、高等学校に勤務する教諭または養護教諭で、令和4年度の初任者研修または新規採用者研修の受講対象であった者を指す（県外で令和4年度の初任者研修または新規採用者研修の受講対象であった者を含む）。 ○受講対象者であるが本年度受講できない者は、サポートシステム申し込み画面「手順2」で「2・3年研を受講しない」を選択し、リストから理由を選択する。								
1 5	高等学校3年目教員研修	○3年目教員研修対象者とは、高等学校に勤務する教諭または養護教諭で、令和3年度に愛知県に教員として採用された者全員を指す（令和2年以前の教職経験の有無は問わない）。 ○受講対象者であるが本年度受講できない者は、サポートシステム申し込み画面「手順2」で「2・3年研を受講しない」を選択し、リストから理由を選択する。								
2 0 2 2	高等学校中堅教諭資質向上研修 中堅養護教諭資質向上研修	<p>○受講対象者については、p.24～p.25を参照する。          &lt;サポートシステム申し込み画面について&gt;  <b>本年度受講する者</b></p> <p>○「手順2」で「第1期申し込み」を選択し、必要に応じて選択や「備考」欄に下表(1)～(3)を参考にして入力する。</p> <p>○「手順4」、「選択研修」欄の選択上の注意          以下の日程に実施される選択研修にて受講したい研修内容をリストから第2希望まで選択する（内容の詳細は、「中堅教諭等資質向上研修の手引」を参照する）。  <b>【前期】</b> 7月21日（金）  <b>【後期】</b> 7月24日（月）          （できる限り希望の研修を受けられるよう配慮するが、定員の都合により希望外の研修内容になることもある）</p> <p>○担当教科が「理科」である者は、申し込みの際に「理科（物理）」「理科（化学）」「理科（生物）」の中からいずれか1つを選択する。</p> <p>○【後期】弾力化希望の選択については、「手順3：研修講座の選択」において、リストから「弾力化MS」「弾力化M」「弾力化S」のいずれかを選択する。ただし、MS両方を前倒して希望しても、定員の関係でどちらか一方しか受講できない場合もある。</p> <p>○【後期】弾力化受講希望者は、主任等の役割があれば「備考」欄に下表(3)を参考にして入力する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">区分</th> <th style="width: 50%;">「備考」欄への入力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 研修の受講を延期していた者が、令和5年度に研修を受講する場合</td> <td>○印を付し、延期していた理由を入力する。 (例) ○令和4年度まで育児休業</td> </tr> <tr> <td>(2) 他府県や異職種での経験があるため、令和5年度に対象者になる場合</td> <td>※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 (例) ※対象者（本県3年目で他県3年経験）</td> </tr> <tr> <td>(3) 【後期】弾力化希望者</td> <td>主任等の役割があれば入力する。 (例) 生徒指導主事</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※複数項目に該当する場合は項目ごとに改行をする</p> <p><b>受講対象者であるが本年度受講しない者</b></p> <p>○「手順2」で「延期」「対象外」「免除」を選択し、リストから理由を選択する。</p>	区分	「備考」欄への入力	(1) 研修の受講を延期していた者が、令和5年度に研修を受講する場合	○印を付し、延期していた理由を入力する。 (例) ○令和4年度まで育児休業	(2) 他府県や異職種での経験があるため、令和5年度に対象者になる場合	※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 (例) ※対象者（本県3年目で他県3年経験）	(3) 【後期】弾力化希望者	主任等の役割があれば入力する。 (例) 生徒指導主事
区分	「備考」欄への入力									
(1) 研修の受講を延期していた者が、令和5年度に研修を受講する場合	○印を付し、延期していた理由を入力する。 (例) ○令和4年度まで育児休業									
(2) 他府県や異職種での経験があるため、令和5年度に対象者になる場合	※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 (例) ※対象者（本県3年目で他県3年経験）									
(3) 【後期】弾力化希望者	主任等の役割があれば入力する。 (例) 生徒指導主事									

研修番号	研修・講座名	留意事項
27	通級指導担当教員初心者研修 自由応募	通級による指導担当教員のうち、参加を希望する教員を対象とする。 ＜サポートシステム申し込み画面について＞ ○「手順4」で、病弱・身体虚弱、弱視、難聴、言語障害、自閉症、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等を選択する。
28	高等学校実習教員研修 指定	○地区センター委員による調整結果に基づき、参加者がある学校のみ入力する。
29	県立学校新任生徒指導主事研修	○高等学校、特別支援学校（高等部）の新任生徒指導主事全員 ○特別支援学校（中学部）の新任生徒指導主事のうち、参加を希望する教員 ○新任とは、これまでに生徒指導主事の経験の無い者を指す（経験の有無は歴任校も含める）。 ○令和4年度途中で新たに生徒指導主事になった者で、本研修を受講していない者も対象とする。
31	県立学校新任進路指導主事研修	○高等学校、特別支援学校（高等部）の新任進路指導主事全員 ○新任とは、これまでに進路指導主事の経験の無い者を指す（経験の有無は歴任校も含める）。 ○令和4年度途中で新たに進路指導主事になった者で、本研修を受講していない者も対象とする。
33	県立学校新任教務主任研修	○高等学校、特別支援学校（全ての部）の新任教務主任全員 ○新任とは、これまでに教務主任の経験の無い者を指す（経験の有無は歴任校も含める）。 ○令和4年度途中で新たに教務主任になった者で、本研修を受講していない者も対象とする。
34	産業教育学科主任研修	○(1) 各学校 大学科1名（全日制と専攻科を合わせて1名） (ア) 定時制については、【工業】城北つばさ・刈谷東、【商業】瀬戸工科が参加する。それ以外は任意参加とする。 (イ) 総合学科については、【工業】鶴城丘、【農業】鶴城丘・新城有教館が参加する。それ以外は任意参加とする。 (ウ) 特別支援学校高等部及び豊橋市立については任意参加とする。 ○(2) 参加は学科（系列）主任とするが、同一人物が毎年参加となる学校に限り、学科（系列）主任の候補となる教諭の代理参加を可とする。
39	県立学校新任教頭研修	○新任教頭全員 ○令和4年度途中で昇任した者で、本研修を受講していない者も対象とする。
40	県立学校新任校長研修	○新任校長全員 ○令和4年度途中で昇任した者で、本研修を受講していない者も対象とする。
46	外国人児童生徒教育講座 指定・自由応募	○外国人児童生徒教育担当教員及び担当する可能性のある教員で、過去に本講座を受講していない者。 ＜サポートシステム申し込み画面について＞ ○「手順4」で、「地区指定」「自由応募」を必ず区別して、「外国人児童生徒教育担当」の経験年数を、歴任校も含めて選択する。
47	教育研究リーダー養成研修 指定	○本案内 p.89に示す「応募条件」を満たす者について入力する。 ○別に（様式6）「教育研究リーダー養成研修（県立学校）参加者推薦書」を、4月13日（木）までにセンターメールで提出する。

研修番号	研修・講座名	留意事項
60	学級・学年づくりに生かす教育相談講座 指定	○地区センター委員による調整結果に基づき、参加者がある学校のみ入力する。 ○自由応募による参加者については、第2期に申し込む。
61	いじめ・不登校など今日的課題に対応する教育相談講座 指定	
62	教育相談コーディネーター養成講座 指定	
64	あいちクラスルーム・エバンジェリスト養成研修 指定	

◆第2期申し込み◆（自由応募制研修・講座） 令和5年6月13日（火）

○研修内容、期日等は p. 33～p. 70 参照

研修番号	研修・講座名
54	看護科講座
55	学校農園活用講座
56	安全教育実技講座（小型車両系建設機械）
57	刈払機安全衛生教育講座
58	農業技術講座 A・B
59	特別支援教育講座 A～E
60	学級・学年づくりに生かす教育相談講座
61	いじめ・不登校など今日的課題に対応する教育相談講座
62	教育相談コーディネーター養成講座
64	あいちクラスルーム・エバンジェリスト養成研修

【申し込み及びサポートシステム入力上の留意事項等】

研修番号	研修・講座名	留意事項
59	特別支援教育講座 A～E	○「手順4」で、A・B・Dの各コースは、希望の参加方法を「センター会場」「オンライン」「どちらでもよい」から選択する（オンラインでの受講は、A・Bコースは午前のみ、Dコースは午後のみとする。オンラインでの受講では、同コース内の他の講義や協議は受講できない）。

◆eラーニング単独講座申し込み◆ 令和6年2月9日（金）まで随時受付

研修番号	研修・講座名
66～107	p. 46～p. 70 参照

### Ⅲ-4 申し込み手続き ～特別支援学校～

#### ◆第1期申し込み◆ 令和5年4月13日（木）必着

○研修内容、期日等は p. 23～p. 32 参照

○研修番号4「特別支援学校初任者研修」、5「新規採用養護教諭研修」、6「新規採用栄養教諭研修」、7「県立学校新規採用実習教員・寄宿舎指導員研修」については、研修の申し込みは不要です。総合教育センターで教員サポートシステムへの登録を行います。

研修番号	研修・講座名	指定	自由応募	サポートシステム備考欄への記載	必要書類 ※
12	特別支援学校2年目教員研修				
16	特別支援学校3年目教員研修				
21	特別支援学校中堅教諭資質向上研修			○	
22	中堅養護教諭資質向上研修				
23	中堅栄養教諭資質向上研修 【前期】【後期】、【後期・弾力化MS】 【後期・弾力化M】【後期・弾力化S】				
25	特別支援学校初任者研修拠点校指導教員研修				
27	通級指導担当教員初心者研修		盲・聾		
29	県立学校新任生徒指導主事研修				
31	県立学校新任進路指導主事研修				
33	県立学校新任教務主任研修				
35	特別支援学校部主事研修				
39	県立学校新任教頭研修				
40	県立学校新任校長研修				
43	幼児教育講座		幼稚部	○	
44	保育技術講座		幼稚部		
46	外国人児童生徒教育講座		○		
47	教育研究リーダー養成研修	○			様式6
63	特別支援学校におけるセンター的機能強化講座	○			

研修番号41「公立学校の臨時教員等研修」の申し込みについては、別途送付する実施要項等でお知らせします。

※ 必要書類は、愛知県総合教育センターのウェブページ「研修部」>「申し込む」からダウンロードできます。

必要事項を記入し、所属アドレス（学校代表アドレス）から総合教育センター所属アドレスへメールで提出してください。

再任用教諭・臨時的任用教員等、氏名リストに表示されない職員については、サポートシステムの学校ページにログインし、「職員名・学校情報の修正・登録・変更・受講履歴照会」メニューから職員の登録を行った上で申し込み手続きを行ってください。

【申し込み及びサポートシステム入力上の留意事項等】

研修番号	研修・講座名	留意事項										
4 5 6 7	特別支援学校初任者研修 新規採用養護教諭研修 新規採用栄養教諭研修 県立学校新規採用実習教員・寄宿舎指導員研修	○サポートシステムへの入力は不要です（総合教育センターで教員サポートシステムへの登録を行います）。										
1 2	特別支援学校2年目教員研修	○2年目教員研修対象者とは、特別支援学校に勤務する教諭、養護教諭または栄養教諭で、令和4年度の初任者研修または新規採用者研修の受講対象であった者を指す（県外で令和4年度の初任者研修または新規採用者研修の受講対象であった者を含む）。 ○受講対象者であるが本年度受講できない者は、サポートシステム申し込み画面「手順2」で「2・3年研を受講しない」を選択し、リストから理由を選択する。										
1 6	特別支援学校3年目教員研修	○3年目教員研修対象者とは、特別支援学校に勤務する教諭、養護教諭または栄養教諭で、令和3年度に愛知県に教員として採用された者全員を指す（令和2年以前の教職経験の有無は問わない）。 ○受講対象者であるが本年度受講できない者は、サポートシステム申し込み画面「手順2」で「2・3年研を受講しない」を選択し、リストから理由を選択する。										
2 1 2 2 2 3	特別支援学校中堅教諭資質向上研修 中堅養護教諭資質向上研修 中堅栄養教諭資質向上研修	○受講対象者については、p.24～p.25を参照する。 <サポートシステム申し込み画面について> <b>本年度受講する者</b> ○「手順2」で「第1期申し込み」を選択し、必要に応じて選択や「備考」欄に下表(1)～(4)を参考にして入力する。 ○「選択研修」欄の選択上の注意 以下の日程に実施される選択研修にて受講したい研修内容をリストから第2希望、もしくは第3希望まで選択する（内容の詳細は、「中堅教諭等資質向上研修の手引」を参照する。養護教諭・栄養教諭は、【後期】7月26日のみ入力する）。 【前期】8月8日（火） 【後期】7月26日（水）・7月31日（月） （できる限り希望の研修を受けられるよう配慮するが、定員の都合により希望外の研修内容になることもある） ○【後期】弾力化希望の選択については、「手順3：研修講座の選択」において、リストから「弾力化MS」「弾力化M」「弾力化S」のいずれかを選択する。ただし、MS両方を前倒して希望しても、定員の関係でどちらか一方しか受講できない場合もある。 ○【後期】弾力化受講希望者は、主任等の役割があれば「備考」欄に下表(4)を参考にして入力する。 <table border="1" data-bbox="496 1664 1426 1899"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>「備考」欄への入力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 研修の受講を延期していた者が、令和5年度に研修を受講する場合</td> <td>○印を付し、延期していた理由を入力する。 (例)○令和4年度まで育児休業</td> </tr> <tr> <td>(2) 他府県や異職種での経験があるため、令和5年度に対象者になる場合</td> <td>※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 (例)※対象者（本県3年目で他県3年経験）</td> </tr> <tr> <td>(3) 任用替えの栄養教諭</td> <td>◆印を付し、任用替えをした年度を入力する。</td> </tr> <tr> <td>(4) 【後期】弾力化希望者</td> <td>主任等の役割があれば入力する。 (例)生徒指導主事</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※複数項目に該当する場合は項目ごとに改行をする</p>	区分	「備考」欄への入力	(1) 研修の受講を延期していた者が、令和5年度に研修を受講する場合	○印を付し、延期していた理由を入力する。 (例)○令和4年度まで育児休業	(2) 他府県や異職種での経験があるため、令和5年度に対象者になる場合	※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 (例)※対象者（本県3年目で他県3年経験）	(3) 任用替えの栄養教諭	◆印を付し、任用替えをした年度を入力する。	(4) 【後期】弾力化希望者	主任等の役割があれば入力する。 (例)生徒指導主事
区分	「備考」欄への入力											
(1) 研修の受講を延期していた者が、令和5年度に研修を受講する場合	○印を付し、延期していた理由を入力する。 (例)○令和4年度まで育児休業											
(2) 他府県や異職種での経験があるため、令和5年度に対象者になる場合	※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 (例)※対象者（本県3年目で他県3年経験）											
(3) 任用替えの栄養教諭	◆印を付し、任用替えをした年度を入力する。											
(4) 【後期】弾力化希望者	主任等の役割があれば入力する。 (例)生徒指導主事											
	【後期】は弾力化を含む	<b>受講対象者であるが本年度受講しない者</b> ○「手順2」で「延期」「対象外」「免除」を選択し、リストから理由を選択する。										

研修番号	研修・講座名	留意事項
27	通級指導担当教員初心者研修 自由応募	○盲・聾学校の通級による指導担当教員の初心者のうち、参加を希望する教員 ＜サポートシステム申し込み画面について＞ ○「手順4」で、病弱・身体虚弱、弱視、難聴、言語障害、自閉症、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等を選択する。
29	県立学校新任生徒指導主事研修	○高等学校、特別支援学校（高等部）の新任生徒指導主事全員 ○特別支援学校（中学部）の新任生徒指導主事のうち、参加を希望する教員 ○新任とは、これまでに生徒指導主事の経験の無い者を指す（経験の有無は歴任校も含める）。 ○令和4年度途中で新たに生徒指導主事になった者で、本研修を受講していない者も対象とする。
31	県立学校新任進路指導主事研修	○高等学校、特別支援学校（高等部）の新任進路指導主事全員 ○新任とは、これまでに進路指導主事の経験の無い者を指す（経験の有無は歴任校も含める）。 ○令和4年度途中で新たに進路指導主事になった者で、本研修を受講していない者も対象とする。
33	県立学校新任教務主任研修	○高等学校、特別支援学校（全ての部）の新任教務主任全員 ○新任とは、これまでに教務主任の経験の無い者を指す（経験の有無は歴任校も含める）。 ○令和4年度途中で新たに教務主任になった者で、本研修を受講していない者も対象とする。
35	特別支援学校部主事研修	○部主事全員
39	県立学校新任教頭研修	○新任教頭全員 ○令和4年度途中で昇任した者で、本研修を受講していない者も対象とする。
40	県立学校新任校長研修	○新任校長全員 ○令和4年度途中で昇任した者で、本研修を受講していない者も対象とする。
43	幼児教育講座 自由応募	○幼稚部教員が対象 ○以下の2分科会のうち、希望する分科会をサポートシステム申し込み画面の「備考」欄に「共通」もしくは「1」と入力する。 【共通協議主題（共通）】 「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」における議論等を踏まえ、幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について 【協議主題1（1）】 「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」における議論等を踏まえ、幼児教育の質に関する認識の共有、家庭や地域との連携の在り方について
46	外国人児童生徒教育講座 自由応募	○外国人児童生徒の担当教員及び担当する可能性のある教員で、過去に本講座を受講していない者。 ＜サポートシステム申し込み画面について＞ ○「手順4」で、「地区指定」「自由応募」を必ず区別して、「外国人児童生徒教育担当」の経験年数を、歴任校も含めて選択する。
47	教育研究リーダー養成研修 指定	○本案内 p. 89に示す「応募条件」を満たす者について入力する。 ○別に（様式6）「教育研究リーダー養成研修（県立学校）参加者推薦書」を、4月13日（木）までにセンターへメールで提出する。
63	特別支援学校におけるセンター的機能強化講座 指定	○参加者がある学校のみ入力する。

◆第2期申し込み◆（自由応募制研修・講座） 令和5年6月13日（火）締め切り

○研修内容、期日等は p. 33～p. 70 参照

研修番号	研修・講座名
54	看護科講座
55	学校農園活用講座
56	安全教育実技講座（小型車両系建設機械）
57	刈払機安全衛生教育講座
58	農業技術講座A
59	特別支援教育講座A～E
60	学級・学年づくりに生かす教育相談講座
61	いじめ・不登校など今日的課題に対応する教育相談講座
62	教育相談コーディネーター養成講座
64	あいちクラスルーム・エバンジェリスト養成研修

【申し込み及びサポートシステム入力上の留意事項等】

研修番号	研修・講座名	留意事項
59	特別支援教育講座A～E	○「手順4」で、A・B・Dの各コースは、希望の参加方法を「センター会場」「オンライン」「どちらでもよい」から選択する（オンラインでの受講は、A・Bコースは午前のみ、Dコースは午後のみとする。オンラインでの受講では、同コース内の他の講義や協議は受講できない）。

◆eラーニング単独講座申し込み◆ 令和6年2月9日（金）まで随時受付

研修番号	研修・講座名
66～107	p. 46～p. 70 参照